



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

ホームページアドレス

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



飯野山（讃岐富士）

目 次

- 1. 知事表彰 2
- 2. 平成 20 年度農地・水・環境保全向上対策地域協議会開催 3
- 3. さぬき“水の歴史考” (57) 二藩領地を抱えた瀬丸池
「四国作家」 同人 平井 忠志 4～5
- 4. 白鳥の親子 (丸亀市の田村池・太井池) 6
- 5. 香川地区国営総合農地防災事業推進協議会平成 20 年度第 1 回役員会開催 7
- 6. 第 8 回かがわの農村ふるさと景観写真コンテスト作品募集 8

知事表彰

～地域発展に貢献～



香川用水土地改良区
三豊市仁尾町土地改良区
理事長 組橋 啓輔



香川用水土地改良区
副理事長 中條 弘矩



高松市川島土地改良区
理事長 佐藤 喜八



坂出市川津町土地改良区
理事長 篠原 静夫

県は 5 月 1 日、2008 年憲法記念日の知事表彰として県政功勞、地方自治功勞、土地改良功勞などの 36 分野で功績のあった功勞者 72 名を発表。土地改良関係者として 4 名の方々が受賞された。

香川用水土地改良区、三豊市仁尾町土地改良区理事長の組橋啓輔氏は、仁尾町議会議員を昭和 46 年から 54 年まで 2 期務められた後、県議として昭和 54 年から現在まで連続 8 期目を迎えられており、この間、議長、副議長、監査委員等を歴任、県政発展の功績が認められ県政功勞分野で受賞された。

また、香川用水土地改良区理事長として本年度より香川用水造成施設の長期的な維持保全対策、「国営土地改良事業香川用水二期地区」の調査に着手する一方、三豊市仁尾町土地改良区理事長として平成 16 年度より庄内半島一帯の農業生産基盤、農村生活環境を一体的に整備する「県営中山間地域総合整備事業詫間・仁尾地区」に取り組み農業を核とした広域的な地域活性化の推進に尽力されている。

香川用水土地改良区副理事長の中條弘矩氏は、大内町議会議員を昭和 54 年から 62 年まで 2 期務められた後、町長を平成 15 年 3 月まで、さらに、引田・大内・白鳥の 3 町合併による東かがわ市の誕生に伴い平成 15 年 4 月からは東かがわ市長として 1 期 4 年間を務められた。

この間、大内町議会議員、町長として町政の発展に寄与するとともに東かがわ市の初代市長として市政基礎づくりなどに尽力した功績が認められ地方自治分野で受賞された。

また、東かがわ市長時代の平成 18 年には東かがわ市引田において「県営農村振興総合整備（田園居住空間整備）事業引田地区」に着手。農業の健全な発展と農地の適正な利用を図りつつ、ほ場整備により住宅用地の供給を行うとともに快適でゆとりのある居住空間の創造に向けた事業推進に尽力された。

高松市川島土地改良区理事長の佐藤喜八氏は、平成 4 年の第一理事就任以来、特に平成 15 年 5 月から今日まで同理事長として土地改良区の円滑な運営と発展に尽力されるとともに地域農業の振興及び地域社会の発展を目指し、農道・ため池・水路等の整備、災害復旧事業に積極的な取り組みをした功績が認められ土地改良功勞分野で受賞された。

坂出市川津町土地改良区理事長の篠原静夫氏は、昭和 59 年から理事に就任、平成 11 年から現在まで同理事長として 23 年余の長期にわたり土地改良区の発展と円滑な運営に努めるとともに土地改良事業を積極的に推進された。特に、横断自動車道関連土地改良事業の実施に際しては、地元の取りまとめに奔走するなど地域農業の発展に寄与した功績が認められ土地改良功勞分野で受賞された。

地域発展にご尽力いただいた 4 氏の弛みないご努力に敬意を表し、今後とも益々お元気で活躍されることをご期待申し上げます。

平成 20 年度 農地・水・環境保全向上対策

西讃・中讃・東讃地域協議会が開催される



西讃地域協議会（観音寺市）



中讃地域協議会（善通寺市）



東讃地域協議会（高松市）

2 年目を迎えた農地・水・環境保全向上対策の平成 20 年度地域協議会総会が、去る 4 月 8 日の西讃地域(会員 8 団体)を皮切りに、9 日は中讃地域（会員 14 団体）、10 日には東讃地域（会員 19 団体）と会員、幹事出席のもと県内 3 箇所で開催された。

この農地・水・環境保全向上対策は、地域における農地や農業用施設的良好な保全を図る『地域ぐるみの共同活動』と農産物の質的な向上を目指す『農業者ぐるみの先進的な営農活動』を支援するもので、昨年度は県下で様々な活動組織が設立された。特に地域ぐるみの共同活動については、平成 19 年度 171 組織 6,666ha であったが関係者のご尽力により、平成 20 年度には 208 組織 7,512ha となり、組織数、面積共に大幅な増が見込まれている。

総会は各地域協議会とも会長または副会長(白川会長・池田会長・十川副会長)と来賓の挨拶(香川県農政水産部農村整備課高尾課長・本会山地常務理事)があり、続いて提出議案の審議に入った。議事では、平成 19 年度事業報告及び収支計算書並びに財産目録の承認について、平成 20 年度の事業計画及び収支予算について、規約の一部改正等について審議され、いずれも原案通り承認された。

平成 19 年度実施報告内容			
地域協議会名	組織数	共同活動協定面積	
西 讃	69	1,995.69ha	
中 讃	51	2,102.63ha	
東 讃	51	2,567.26ha	
計	171	6,665.58ha	
地域協議会名	組織数	営農活動対象面積	
東 讃	2	21.33ha	
計	2	21.33ha	

平成 20 年度実施計画内容			
地域協議会名	組織数	共同活動協定面積	
西 讃	71	2,032.92ha	
中 讃	68	2,555.75ha	
東 讃	69	2,922.94ha	
計	208	7,511.61ha	
地域協議会名	組織数	営農活動対象面積	
東 讃	2	21.33ha	
計	2	21.33ha	

さぬき “水の歴史考”

(57) 二藩領地を抱えた瀬丸池

(「四国作家」 同人) 平井 忠志

はじめに

江戸時代の初期、寛永六年（1629）三野郡二宮郷・羽方村（三豊市高瀬町）に築かれた瀬丸池は、最盛期には百四十町歩を支配した大池である。生駒藩の奉行西嶋八兵衛によって築かれたが、寛永十七年、生駒藩が没落したあとは丸亀藩の支配下に置かれた。

その後、丸亀藩が幕府に願い出て多度津藩を分封したため、水掛かりが二藩の領地にまたがるという厄介な事態になった。ここに領地支配と水利慣行のはざまの力関係を、垣間見ることにする。



瀬丸池（三豊市高瀬町）

上流に雨乞いの霊地

瀬丸池は羽方村の中央部を流れる宮川（財田川支流）の、溪谷に築いた典型的な山池である。上流には讃岐国二宮と呼ばれる大水上神社がある。延喜式内社・讃岐二十四社の一つである。境内には郡の祈雨所・竜王淵があり、昔から雨乞いの霊地とされてきた。

ウナギ淵とも言われ、雨乞いのとき黒いウナギが出れば雨が降り、白いウナギが出ると干ばつになると伝えられている。

実権を握る羽方村

瀬丸池の水掛かりは羽方村、上高野村、寺家村、岡本村の四か村（何れも三豊市）である。地元に伝わる『佐股組明細帳』（江戸中期の記録）によると、瀬丸池掛り 1860 石のうち、最上流の羽方村はわずか 160 石に過ぎず、9 割以上が下流の上高野村ほか他村にかかっている。

讃岐の水利は上流優先の慣行が支配している。ここ瀬丸池も例外ではない。瀬丸池の貯水は、宮川の左右岸に延びる素掘りの東井手（約 4300 メートル）と、西井手（約 2000 メートル）で沿岸に配水される。だが水の実権は水上の小さな羽方村が握り、このため干天が続くと水下の村々との争いが絶えなかった。

生駒藩から丸亀藩へ

それでも生駒藩時代は、同じ藩の支配下のため大庄屋に任せておけば、水利紛争の解決もどうにか納まっていた。寛永十七年（1640）、生駒藩が幕府に改易されたあと讃岐は二分された。西讃は丸亀山崎藩、続いて丸亀京極藩へと目まぐるしく支配者が入れ代わったが、一藩支配に変わりはない。

ところが元禄七年（1694）、丸亀六万石の京極藩は幕府に願い出て、所領地のうち二十か村・一万石を割いて支藩・多度津藩を置いた。このとき、瀬丸池掛りは、羽方村だけが多度津藩に組み入れられたため、一つの池掛かりを二藩が支配することになってしまった。

多度津支藩の弱腰

瀬丸池の修築や増築は、当然ながら多度津藩と丸亀藩の合議により行われた。記録によると、その場

合人夫の出役比率は水掛かり面積割りで、多度津藩はわずか一割、丸亀藩が九割となっている。

だが用水の利用は羽方村が実権を握っているため、干ばつの年には下流の丸亀藩領の村々にはほとんど用水が届かず、水喧嘩が絶えなかったようである。このため、瀬丸池の樋を抜くときは、多度津藩領の大庄屋が立会する決まりになっていた。

ところが江戸時代中期の延享四年（1747）の干ばつの時は、大庄屋の立会が待ち切れず、丸亀藩領の上高野村の農民が大勢で池に押しかけた。そして池守や羽方村の農民に、鳶口などで傷を負わせるという事件が起きている。

言うなれば、他藩の領民が越境して起こした傷害事件にはほかならない。当然ながら、羽方村の農民は憤慨して多度津藩に訴えた。だが多度津藩は支藩の弱みで、本家筋の丸亀藩に対し事件の報告をただけで、強硬に抗議できなかったと言う。

下流の村が次々と脱退

いま一つ、下流の村々が耐えられなかったのは、瀬丸池の改修費や水利費の負担であった。肝心の干ばつ年には、ほとんど水が届かないにもかかわらず、九割の負担金は容赦なく取り立てられる。

このため明治三十年頃には、下流の本山村（寺家村・岡本村が合併）が負担に耐えかねて水掛かりを脱退した。さらに明治四十年頃には上高野村も水利費の未納が続き、池掛かりから脱落してしまった。

幸い各村とも、村内に別のため池を持っていたため、あとは浅井戸や出水の新設などで不足を補ってきたのである。

流入土砂でひと財産

このため二宮村（羽方村と佐股村が合併）は瀬丸池を一村で抱え、維持管理にあえぐ結果になってしまった。ところがその危機を救ったのは皮肉にも、築造以来長年月にわたって池に流入した、堆積土砂であった。

明治四十三年、二宮村は国の補助事業で堆積土砂の耕地整理を行い、池敷きに約五町歩（5ヘクタール）の水田を造成した。このうち四町歩を売却して事業費に充当し、残りの一町歩を池の基本財産に残し、毎年の運用利益を池普請や水利費の基金に積み立てることにした。

酒三斗五升の慣習

これを知った上高野村は、改めて瀬丸池掛りへの加入復活を申し込んだ。だが今度は二宮村が「虫のいい話をするな」と、これを拒否した。

再三にわたる交渉の結果、「二宮村の水が余る場合に限り分水する」ことで決着したという。このため上高野村は、二宮村の地主や小作人に対し、毎年酒三斗五升を贈る慣習が根付いたという。（大正五年・香川県農業水利慣行調査）

徹夜で田植えの準備

昭和二十八年頃の話である。私が県の出先機関でこの地方を担当していた時、国の補助事業で瀬丸池用水路を、三面コンクリートに改修したことがある。

効果はてき面、漏水が皆無となったため下流まで、豊潤な用水がどんどん流れた。これに驚いたのは上高野村の農家である。思わぬ水が夜に入っても流れるので、これ幸いと二晩寝ずに田ごしらえをし、あげくのはては疲れが出て寝込んでしまったという笑えぬ話が残っている。

※ ※ ※ ※

こうして瀬丸池は、悲喜こもごもの歴史を織りなしながら、いまでも「香川ため池百選」にその名を連ねている。

白鳥の親子

丸亀市の田村池・太井池



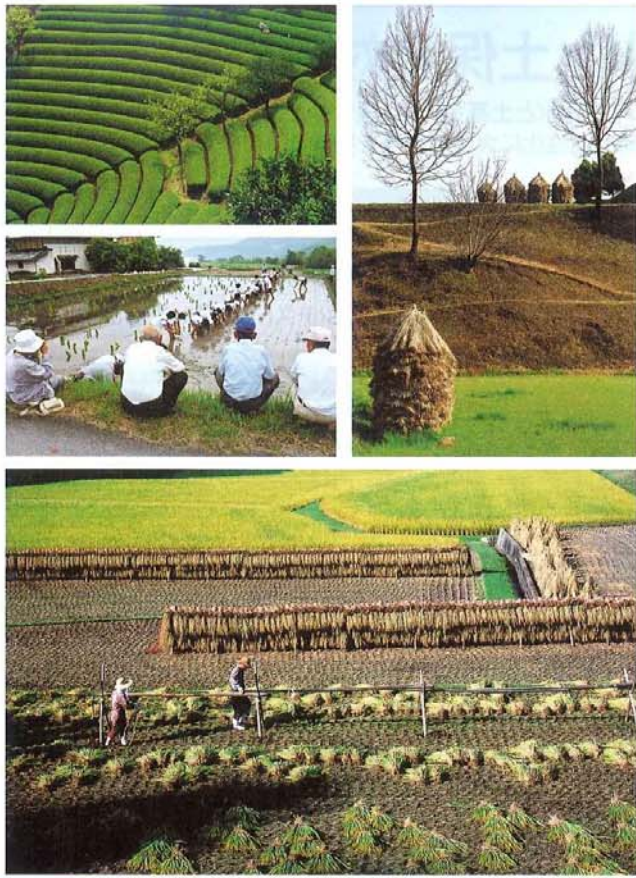
田村池・太井池は、香川地区国営総合農地防災事業・環境配慮型整備工事として、護岸工事が平成 17 年 3 月竣工した。

二つの池の間にある堤を、東に向かって歩くと、正面に飯野山（讃岐富士）が見える。北側には田村池、南側の太井池は水深が浅いため、抽水植物の群落が見られヨシ・マコモ・ヒメガマなどが自生しており、自然の景観が保護され、野鳥の楽園になっている。

5 月 1 日、白鳥の親子が朝日を受けて悠々と泳いでいる姿が見られた。

（水土里レポーター 横井 順一）





第8回

かがわの農村
ふるさとと景観
写真コンテスト

作品
募集

テーマ

発見!ふるさとの原風景

(香川県の農業・農村風景をテーマにした作品で未発表の作品)

応募期間 平成20年4月1日～平成20年11月30日

※平成21年2月 審査会・結果発表(予定)

応募資格 プロ・アマを問わず自由とします。

応募規定 サービスサイズ以上のカラープリント、デジカメ可
※組写真・合成写真は除きます。(詳細はチラシ裏面を参照下さい。)

応募方法 裏面応募票に必要事項を明記の上、作品と一緒に
下記応募先にお送りください。

審査 主催者において審査を行います。

発表 審査結果は入賞者への賞品の発送をもってかえさせていただきます。
また、入賞の際は原版(ネガまたはポジ)デジタルカメラの場合はCD-R、MO等の電子媒体(展示会に使用するため解像度の高いもの・ファイル形式JPEG)の提出をお願いします。
応募作品は返却しません。
入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。
写真に人物が写っている場合、肖像権侵害等の責任は負いませんので、応募に際しては必ず本人(被写体)の承諾を得てください。

応募先・お問い合わせ 〒760-8570 香川県高松市番町4丁目1-10
香川県農政水産部農村整備課
写真コンテスト係
TEL.087-832-3448

各賞

最優秀賞…1点 盾・副賞
(香川の特産品5万円相当)

優秀賞…4点 盾・副賞
(香川の特産品3万円相当)

入選…5点 盾・副賞
(香川の特産品1万円相当)

佳作…10点 盾・副賞
(香川の特産品5千円相当)

特別賞…香川県農業協同組合中央会長賞
1点 盾・副賞
香川県土地改良事業団体連合会長賞
1点 盾・副賞

